

2022年度 事業報告書

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月 31日

目 次

I. 一般概要	1
II. 事務報告	2
1. 基本財産	2
2. 会 議	2
(1) 評議員会の開催	2
(2) 理事会の開催	2
(3) 評議員選定委員会の開催	3
(4) アドバイザリー会議の開催	3
3. 事務局機構	3
4. 届出・登記事項	3
III. 事業報告【公益目的事業】	4
1. ゲートボール再生プロジェクト（日本財団助成事業）	4
(1) 新たなゲートボールファン拡大に向けた普及活動の創出	4
(2) 組織強化〔日本財団助成事業〕	5
2. 普及及び振興	6
(1) 学校スポーツとしての育成	6
(2) 日本発祥スポーツとしての海外普及（日本財団助成事業）	7
3. 全日本選手権大会及びその他の競技会の開催	7
(1) 全国大会の開催（助成事業）	7
(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への開催支援	9
4. 国民体育大会の実施	10
(1) 第77回国民体育大会〔公開競技〕ゲートボール競技会	10
(2) 第77回国民体育大会〔公開競技〕ゲートボール競技会地域予選会	10
(3) 2022年度以降の国民体育大会の開催準備	11
5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考及び派遣、並びに外国チームの招聘 ..	11
(1) アジアゲートボール選手権大会の開催（日本財団助成事業）	11
(2) 国際大会・交流会等への日本チームの派遣（日本財団助成事業）	11
(3) ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催準備	11
6. 競技規則に関すること	11

7. 指導者の養成	12
(1) 指導者研修会の実施（日本財団助成事業）	12
(2) JSP0 公認ゲートボール指導者（コーチ1）の養成	12
8. 審判員の養成及び認定	14
(1) 審判員資格の試験、登録、並びに登録更新の実施	14
(2) 国際審判員資格の試験、登録、並びに登録更新の実施	15
(3) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）	15
9. ゲートボール器具・用具の研究開発及び認定	19
10. ゲートボールに関する刊行物の発行	19
11. 功労者等の表彰	19
12. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	19
(1) 各種ゲートボール大会への後援協力等	19
(2) ゲートボール活動における事故予防・防止に向けた啓発活動等	20
(3) アンチ・ドーピング教育・啓発活動	22
(4) 広報	22
(5) 会員データシステムの整備	22
(6) 寄付金・賛助金及び協賛企業等の募集	22
(7) 国際ゲートボール組織の事務局業務の受託	23
【参考：各種名簿等】	24
別表第1 評議員：任期4年（8名以上15名以内）	24
別表第2 理事：任期2年（8名以上15名以内）	24
別表第3 監事：任期2年（2名以内）	24
別表第4 事務局組織図	25
別表第5 2022年度 日本連合主催全国大会等	25
【2022年度事業報告における附属明細書】	26

I. 一般概要

公益財団法人日本ゲートボール連合（日本連合）は、日本発祥のスポーツ「ゲートボール」の普及をつうじて、世代や地域を超えたコミュニケーションの促進を図り、人々の心身の健全な発達、明るい生活・活力ある社会の実現及び国際社会の調和に寄与することを目的に、各種事業を積極的に展開している。

2020年度より中止していた全国大会については、新型コロナウイルスの感染症対策を徹底し、多くのチームの参加のもと開催することができた。

大学を拠点とする普及活動では、新規もしくは継続して授業やゼミにおいてゲートボールを取り入れた。また既成概念にとらわれないニュー・ゲートボールの開発においては、キャンプやアウトドアフェス等の会場に「体験コーナー」を設け、若者やファミリーをターゲットとした活動を行い、成果を上げることができた。

今後もその成果を確実に育てつつ、刻々と変化する状況に柔軟に対応しながら、全ての世代に浸透するスポーツ、また誰でも気軽に楽しめるレクリエーション的要素を持ち合わせたスポーツとして展開していく。また、愛好者の裾野を広げ地域社会の活性化に継続的に貢献していく。

なお、事業の実施にあたり、日本連合は、都道府県加盟団体をはじめ、関係行政機関、関係団体と協調している。特に、日本財団をつうじて貴重なボートレースの収益金の一部を支援いただき、各事業の拡充に努めた。

II. 事務報告

1. 基本財産

2023年3月31日現在の基本財産は1億円である。

※財務諸表では債券が時価評価となり、期末の基本財産は、97,063,500円となっている。

2. 会 議

日本連合の事業遂行のため、評議員会及び理事会を以下のとおり開催し、事業遂行の重要案件を審議した。

(1) 評議員会の開催

1) 2022年度定時評議員会

- ① 開催日時：2022年6月21日（火）13：30～15：02
- ② 開催場所：東京都新宿区 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 会議室
- ③ 出欠者：出席評議員4名、ウェブ出席評議員5名、欠席評議員3名、出席監事1名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 2021年度事業報告並びに財務諸表の承認に関する件
 - 第2号議案 定款の変更（案）に関する件
 - 第3号議案 次期理事及び監事の選任に関する件
 - 第4号議案 常勤理事の報酬に関する件

(2) 理事会の開催

1) 第34回理事会

- ① 開催日時：2022年6月3日（金）13：59～15：02
- ② 開催場所：東京都新宿区 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 会議室
- ③ 出欠者：出席理事8名、ウェブ出席理事3名、欠席理事0名、出席監事1名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 2021年度事業報告並びに財務諸表に関する件
 - 第2号議案 主たる事務所の移転移管する件
 - 第3号議案 2022年度定時評議委員会の開催に関する件

2) 第35回理事会

- ① 開催日時：2022年6月21日（火）15：38～16：01
- ② 開催場所：東京都新宿区 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 会議室
- ③ 出欠者：出席理事5名、ウェブ出席理事3名、欠席理事3名、出席監事2名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 会長及び専務理事、並びに常務理事の選定に関する件
 - 第2号議案 定款第24条第2項に基づく専務理事及び常務理事の業務に関する件

3) 第36回理事会

- ① 開催日時：2023年3月23日（木） 14：20～15：05
- ② 開催場所：東京都港区 日本財団第二ビル 2階 会議室
- ③ 出欠席：出席理事5名、ウェブ出席理事3名、欠席理事3名、出席監事2名
- ④ 審議事項
第1号議案 2023年度事業計画及び収支予算書に関する件

(3) 評議員選定委員会の開催

開催なし

(4) アドバイザリー会議の開催

再生プロジェクトにて本会議を含めた組織再編を協議していることから、開催をみあわせた。

3. 事務局機構

2023年3月31日現在の事務局機構は、別表第4（25ページ）のとおり2部4課であり、職員8名である。

4. 届出・登記事項

- ① 内閣府への届出
事業報告、主たる事務所の変更（定款、評議員退任）、事業計画 3件
- ② 日本スポーツ協会への届出
事業計画、事業報告等 2件
- ③ 日本レクリエーション協会への届出
事業計画、事業報告等 2件

Ⅲ. 事業報告【公益目的事業】

1. ゲートボール再生プロジェクト（日本財団助成事業）

下記のとおり、各事業の推進に取り組んだ。また、再生プロジェクト（5カ年計画）の4年目であることから、これまでの取り組みに対する見直しも図った。

(1) 新たなゲートボールファン拡大に向けた普及活動の創出

1) 大学スポーツとしての普及

大学を拠点とする普及活動では、新規もしくは継続してゲートボールを導入してもらう大学に対し指導者派遣等、活動内容に応じた支援、他大学との交流機会の提供を行う一方、これまでの活動の振り返り評価を行い、大学普及の成果を最大化するための事業計画の再構築に取り組んだ。

① 2022年度ゲートボールの授業・課外活動としての実施大学（17大学）

1	北海道	北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科
2	岩手	岩手大学 人文社会科学部 人間文化課程 スポーツ科学プログラム
3	山形	東北公益文科大学 地域共創センター事務室
4	埼玉	目白大学 保健医療学部 作業療法学科
5	神奈川	田園調布学園大学 こども未来学部
6	神奈川	慶應義塾大学 体育研究所
7	山梨	山梨学院大学 スポーツ科学部
8	石川	金沢星稜大学 人間科学部 スポーツ学科
9	長野	松本大学 人間健康学部 スポーツ健康学科
10	愛知	東海学園大学 スポーツ健康科学部
11	滋賀	びわこ学院大学 教育福祉学部 スポーツ教育学科
12	滋賀	立命館大学 スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
13	岡山	環太平洋大学 体育学部
14	岡山	美作大学・美作大学短期大学部 幼児教育学科
15	高知	高知工科大学 経済・マネジメント学群 スポーツマネジメント専攻
16	福岡	北九州市立大学 文学部 人間関係学科
17	福岡	久留米大学 人間健康学部 スポーツ医科学科

② 岩手大学（岩手県）と東北公益文科大学（山形県）の交流会

2022年11月26日（土）・27日（日）山形県鶴岡市 J A鶴岡だだちゃアリーナ

③ 環太平洋大学（岡山県）と美作大学（岡山県）の交流会

2022年11月27日（日）岡山県苫田郡鏡野町 かがみのドーム

2) 小学校低学年・未就学児向け教育プログラム

国立大学法人筑波大学との共同研究「ゲートボールの普及と体育での活用に関する研究」を下記のとおり継続。4ヵ年目である本年度は、前年度に作成した「小学校低学年向け教育プログラムの基本カリキュラム」を用いて各学校での実践検証を行った。また、筑波大学が本研究に関する学会発表を海外にて行った。

- ① 幼児・小学校教育における教材開発を行うと同時に、年齢に応じた用具の開発を検討する。
- ② 障がい者スポーツとしての可能性を検証する。

3) 地域特性に応じた普及活動

- ① 山梨学院大学による大会支援（選抜大会）
- ② 開成中学校・高等学校での活動。

4) ゲームバリエーション（キャンプスポーツ）の研究

キャンプスポーツとしてのゲートボール要素を取り入れたコンテンツの創出を主軸としたリブランディングに着手。また、日常の中でゲートボール情報との接点の創出の一つとして、新たなSNSによる情報発信を開始した。

- ① 山梨県身延町の五条ヶ丘活性化推進協議会と協力し、旧身延町立下部小中学校校庭キャンプでゲートボールの体験コーナーを設けた。
- ② ヤマビコフェス（静岡県御殿場市）において、アウトドアスポーツコーナーを設け、ニュー・ゲートボールの体験会を行った。
- ③ よみうりランドにゲートボールコーナーを設け、来場者にニュー・ゲートボールの体験会を行った。
- ④ LINE公式アカウントへの登録を促し、LINEスタンプの配信や加盟団体会員・一般愛好者・新規層に向けて大会情報・普及活動を発信する等、より直接的な情報発信を行った。

5) デジタルコンテンツの活用

- ① ろうあ者対応のタイムスコア（バイブ機能搭載型）製作を検討。
- ② タブレット型ゲートボール記録表製作を検討。

(2) 組織強化〔日本財団助成事業〕

1) 基盤強化、人材育成、ICT環境の整備、マネジメント支援等

- ① 事務局体制の定着、職員補充による基盤強化、各業務の整理等、事務局体制の強靱化に注力した。
- ② 加盟団体を一堂に集めての全国会議については、3月9日（木）・10日（金）に都市センターホテルにて開催した。

2) 地方活性化モデルの推進

地方組織の活性化助成として、15 団体が立案した普及事業を実施した。

青 森	活性化ネットワーク構築	島 根	動画撮影・配信
秋 田	すばーくを活用した地域共生	岡 山	大学拠点推進
山 形	ゲートボールを次世代へ	広 島	イメージアップ戦略
千 葉	ろうあ者普及・手話審判員	高 知	総活性化プロジェクト
東 京	手話通訳者のための体験会	長 崎	未来に繋げるゲートボール
長 野	初心者スクール 他	鹿児島	組織活性化事業
三 重	新規加入キャンペーン	沖 縄	審判員リーダー養成講習会
大 阪	多様な人々とのGB交流		

2. 普及及び振興

(1) 学校スポーツとしての育成

全世代型スポーツを目指すためには、ジュニア世代の底辺拡大につながる学校スポーツとしての定着が不可欠であることから、中学校・高等学校でのゲートボール活動を支援し、ジュニア世代の育成を図った。

1) 中学・高等学校でのゲートボール活動支援

中学・高等学校を対象としたゲートボール活動への助成については、2022 年度は第 20 期の中学校 1 校、高等学校 2 校を支援した。

① 第 20 期 (2021・2022・2023 年度)

1	開成高等学校	東 京
3	県立隠岐島前高等学校	島 根
2	三次市立甲奴中学校	広 島

② 全国高等学校ゲートボール選手権大会 (スポーツ安全協会助成事業)

高等学校対抗戦として、リレーション-3 (3 人制) 競技による本大会を、5 校により開催した。

- ・期 日：2022 年 12 月 17 日 (土)
- ・開 催 地：愛媛県西条市 ビバ・スポルティア S A I J O
- ・主 管：愛媛県ゲートボール連合
- ・参 加 数：5 校 (26 名)
- ・成 績

順 位	学 校 名	加盟団体
優 勝	島根県立平田高等学校	島 根
準 優 勝	作新学院高等学校	栃 木
第 3 位	出雲西高等学校	島 根

2) 全国ユースゲートボール連盟への活動支援

全国ユースゲートボール大会及びチャリティーゲートボール大会の支援を行った。

(2) 日本発祥スポーツとしての海外普及（日本財団助成事業）

従来から普及を図っている国・地域や普及の兆しのある国・地域に対し、ゲートボール用具や競技規則・各種資料を提供してさらなる普及に努めた。コロナ禍により、国際郵便等においてもサービス停止が続いていたが、一部の国・地域への発送が再開となったため、下記のとおり実施した。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の収束を見据えて、用具を備蓄し、発送の準備をした。

用具の寄贈：ヨーロッパ（18地区） 資料等寄贈：ブラジル

3. 全日本選手権大会及びその他の競技会の開催

(1) 全国大会の開催（助成事業）

1) 文部科学大臣杯 全日本ゲートボール選手権大会（スポーツ振興基金助成事業）

- ・期 日：2022年10月15日（土）・16日（日）
- ・開 催 地：福井県鯖江市 東公園陸上競技場
- ・主 管：福井県ゲートボール協会
- ・参加チーム：44チーム（263名）
- ・成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	小豆島豊栄	香 川
準 優 勝	E・フォース	三 重
第 3 位	F F C	埼 玉
	霧島クラブ	鹿児島

※年齢・性別不問

2) 全国選抜ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：2022年6月18日（土）・19日（日）
- ・開 催 地：山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園 J I Tリサイクルインクスタジアム
- ・主 管：山梨県ゲートボール協会
- ・参加チーム：80チーム（439名）
- ・成 績

男子クラス（40チーム）			女子クラス（40チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優勝	広島五日市	広 島	優勝	ウイングッターL	東 京
準優勝	杉 並	東 京	準優勝	黎明会	広 島
第3位	水 都	岐 阜	第3位	盛岡レディース	岩 手
	イクちゃん会	山 梨		明球会B	神奈川

※65歳以上とする。

3) 内閣総理大臣杯 全日本世代交流ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：2022年9月18日（日）
- ・開 催 地：島根県出雲市 出雲健康公園 出雲ドーム
- ・主 管：島根県ゲートボール協会
- ・参加チーム：34チーム（221名）
- ・成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	わいわいキング	鹿児島
準 優 勝	伯耆ストームズ	鳥 取
第 3 位	E・フォース	三 重
	大霧島	鹿児島
文部科学大臣賞	E・フォース	三 重

※15歳未満、15歳以上65歳未満、65歳以上の3世代の年齢の選手で構成する。

※文部科学大臣賞：優勝から第3位までの4チームで年齢差が最も大きいチーム。

4) 全国ジュニアゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：2022年8月6日（土）・7日（日）
- ・開 催 地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
- ・主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ・参加チーム：27チーム（194名）
- ・成 績

ジュニア男子1部クラス（5チーム）			ジュニア女子1部クラス（7チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優勝	作新学院	栃 木	優勝	木曜クラブ	岩 手
準優勝	青森山田高校α	青 森	準優勝	作新クラブ	栃 木
第3位	出 雲	島 根	第3位	青森明の星B	青 森
	岩 手	岩 手		青森明の星A	青 森
ジュニア2部クラス（15チーム）					
順位	チーム名	加盟団体			
優勝	わいわいクラブ	鹿児島			
準優勝	マチルダA	北海道			
第3位	E・フォース アウラード	三 重			
	牧ジュニア	新 潟			

※ジュニア男子1部クラス・・・15歳以上18歳未満の男子

※ジュニア女子1部クラス・・・15歳以上18歳未満の女子

※ジュニア2部クラス・・・・・・6歳以上15歳未満、性別不問

5) 全国社会人ゲートボール大会（日本財団助成事業）

※第27回全国ジュニアゲートボール大会との合同開催

- ・参加チーム：15チーム（86名）
- ・成績

順位	チーム名	加盟団体
優勝	健祥会キング	徳島
準優勝	健祥会エンペラー	徳島
第3位	健祥会リバティ	徳島
	セブンイレブンチワワズ	長野

※同一都道府県内における、同一の官公庁・企業等で職業に従事する者でチームを構成する。

(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への開催支援

1) 地域ゲートボール選手権大会

地域愛好者のゲートボール技能向上、相互交流促進、情報交換を目的に各地域にて開催される地域選手権大会や都道府県大会は、下記のとおり開催された。

① 地域選手権大会

地域	開催地	開催日	優勝チーム
北海道	北海道	7月2日	ザ・小樽（北海道）
東北	福島	7月9日・10日	弘前公園（青森）
北信越	新潟	5月28日・29日	志水魁（石川）
北関東	茨城	8月28日・29日	FFC（埼玉）
南関東	東京	2023年3月18日	クレスト（千葉）
東海	愛知	11月17日	キャッツ（愛知）
近畿	大阪	10月1日・2日	くいだおれ（大阪）
中国	山口	9月10日・11日	広島楓（広島）
四国	香川	5月15日	小松島ネクサス（香川）
九州	宮崎	11月13日	大霧島（鹿児島）

② 地域ジュニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	青森	10月23日	5	木曜クラブH（岩手）

③ 地域ミドル大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
九州（ミドル）	長崎	8月21日	12	一心（大分）

④ 地域スーパーシニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	山形	9月10日・11日	22	雫石（岩手）

2) 都道府県ゲートボール大会

日本連合が主催する全国大会の都道府県予選会の支援を行った。

4. 国民体育大会の実施

(1) 第77回国民体育大会〔公開競技〕ゲートボール競技会

- ・期 日：2022年9月3日（土）・4日（日）
- ・開 催 地：栃木県那珂川町 小川総合福祉センター園地
- ・主 管：栃木県ゲートボール協会
- ・参加チーム：28チーム（185名）
- ・成 績

男子の部（15チーム）		女子の部（13チーム）	
順位	都道府県	順位	都道府県
第1位	岐阜県	第1位	栃木県
第2位	岩手県	第2位	神奈川県
第3位	栃木県	第3位	山梨県

(2) 第77回国民体育大会〔公開競技〕ゲートボール競技会 地域予選会

地 域	開催地	開 催 日	参加チーム数		優勝（国体参加都道府県）	
			男子	女子	男子	女子
北海道	---	中 止	---	---	---	---
東 北	岩 手	2021年度開催	6	4	岩手・青森	岩手・青森
北信越	福 井	6月26日（日）	5	5	石川・新潟	福井・富山
北関東	栃 木	4月9日（土）	12	10	埼 玉	茨 城
南関東	東 京	2021年度開催	6	6	東京・山梨	山梨・神奈川
東 海	岐 阜	7月10日（日）	4	4	岐 阜	岐 阜
近 畿	奈 良	6月12日（日）	5	5	滋賀・和歌山	大阪・奈良
中 国	岡 山	2021年度開催	4	3	島 根	岡 山
四 国	高 知	2021年度開催	15	4	徳 島	愛 媛
九 州	熊 本	4月24日（日）	8	6	鹿児島・宮崎	鹿児島・熊本

※ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、北海道（男女）、奈良（女子）、熊本（女子）は、本大会を棄権した。

(3) 2022年度以降の国民体育大会の開催準備

公開競技としてゲートボール競技の実施が確定されている 2023 年以後の国民体育大会に関し、公開競技実施基準の確認や開催準備スケジュール等について、日本スポーツ協会、開催地実行委員会、会場地自治体、開催地加盟団体と協議を行った。

<第2期>		<第3期>		<第4期>	
年	開催地	年	開催地	年	開催地
2019年	茨城県行方市	2024年	佐賀県鳥栖市	2028年	長野県(予定)
2020年	鹿児島県 ※延期	2025年	滋賀県長浜市	2029年	群馬県(予定)
2021年	三重県 ※中止	2026年	青森県十和田市	2030年	島根県(予定)
2022年	栃木県那珂川町	2027年	宮崎県都城市	2031年	奈良県(予定)
2023年	鹿児島県指宿市	※鹿児島国体が2023年に延期し、以後1年の順送り			

(4) 2028年度以降(第4期)の国民スポーツ大会における正式競技にはならなかった。

5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考及び派遣、並びに外国チームの招聘**(1) アジアゲートボール選手権大会の開催(日本財団助成事業)**

本年度計画していた第8回アジアゲートボール選手権大会は、主管団体の中国門球協会との協議により、2024年度開催へと延期とした。

(2) 国際大会・交流会等への日本チームの派遣(日本財団助成事業)

世界的に感染が広がった新型コロナウイルスにより、参加者・職員等の安全確保ができないため、すべての事業を中止した。

(3) ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催準備

2022年5月の開催に向け、会場地自治体等との協議を進めてきたが、ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会と国際マスターズゲームズ協会(IWGA)との協議の結果、2027年5月に再延期となった。

6. 競技規則に関すること

2023年4月1日より改正・施行を予定していた公式競技規則に関し、世界ゲートボール連合加盟団体を一堂に集めての国際会議の実施が困難であったため延期した。

7. 指導者の養成

(1) 指導者研修会の実施（日本財団助成事業）

公認ゲートボール指導者を対象とした加盟団体及び地域協議会が行う指導者研修会に対し支援を行った。

- ・期 日：2022年8月～2023年3月
- ・場 所：9加盟団体
- ・参加者：公認スポーツ指導者ほか 延べ306名
- ・内 容：指導者として必要と思われる講演・実技・研究協議等
- ・協力講師：学校教育機関等の有識者による講演・加盟団体役員による実態報告と講演

(2) JSP0公認ゲートボール指導者（コーチ1）の養成

公認スポーツ指導者は、日本スポーツ協会が認定する資格であり、資格認定にはスポーツ一般に関する共通科目と競技の専門性などに特化した専門科目をそれぞれ履修しなければならない。

日本連合では、専門科目の履修に関する業務を担当しており、資格取得後の資質向上と資格更新のための更新研修（4年に1回）の受講を奨励している。

1) 専門科目及び準指導員養成講習会の検定試験

加盟団体	開催地	実施期間	合格者
東 京	東京都国分寺市	2023年1月28日～2月19日	5
合 計			5

2) 準指導員の登録者数

加盟団体	新規登録者数	登録更新者数	資格移行者数	累 計
東 京	5		3	8
岡 山		1		3
合計	0	1	3	11

※ 移行者：日本連合認定準指導員⇒日本スポーツ協会公認スポーツ指導者

3) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の登録者数

2022年度末での公認ゲートボールコーチ1の登録者数は1,129名となり、前年度から103名の減となった。

公認ゲートボール指導者 養成講習会・更新研修等の実施及び登録者一覧表

2023年3月31日 現在

	養成講習会 修了者数	更新研修 対象参加者数	再登録 申請者数	登録者数	性別内訳	
					男性	女性
1 北海道				15	13	2
2 青森				14	8	6
3 岩手				27	22	5
4 宮城				43	25	18
5 秋田				15	8	7
6 山形				17	11	6
7 福島		12		14	13	1
8 茨城				19	14	5
9 栃木		14		20	12	8
10 群馬				23	15	8
11 埼玉				101	53	48
12 千葉		17		23	12	11
13 東京	3			40	26	14
14 神奈川	1			28	13	15
15 新潟				95	74	21
16 富山				16	14	2
17 石川				8	6	2
18 福井				35	26	9
19 山梨				9	7	2
20 長野	15	122		169	123	46
21 岐阜				13	6	7
22 静岡				5	3	2
23 愛知				13	11	2
24 三重				31	21	10
25 滋賀	10	16		37	26	11
26 京都				38	26	12
27 大阪				14	4	10
28 兵庫				6	3	3
29 奈良				14	9	5
30 和歌山				11	8	3
31 鳥取				8	7	1
32 島根				18	14	4
33 岡山		22		35	25	10
34 広島		10		11	6	5
35 山口				5	4	1
36 徳島				21	16	5
37 香川				28	18	10
38 愛媛				3	2	1
39 高知				1	1	0
40 福岡				12	8	4
41 佐賀				1	0	1
42 長崎				18	16	2
43 熊本				5	3	2
44 大分				9	3	6
45 宮崎				5	3	2
46 鹿児島				14	10	4
47 沖縄				22	20	2
合計	29	213	0	1,129	768	361
前年度計	0	29	1	1,232	837	395
増減	29	184	△ 1	△ 103	△ 69	△ 34

8. 審判員の養成及び認定

(1) 審判員資格の試験、登録、並びに登録更新の実施

加盟団体の協力を得て、各級の審判員資格試験、資格登録並びに登録更新のための講習会等を実施した。

1) 受験者数及び合格者数

受験者数は1,196名となり、前年度1,206名から10名の減となった。

級	受験者	合格者	備考
1 級	129	129	27加盟団体で実施
2 級	222	222	30加盟団体で実施
3 級	845	845	40加盟団体で実施
合計	1,196	1,196	

※ 詳細は「審判員資格試験実施結果一覧表」（16ページ）参照

2) 新規登録者数及び登録更新者数

登録更新者数は12,431名となり、前年度13,952名から1,521名の減となった。

級	新規登録者	登録更新者	合計
1 級	129	2,773	2,902
2 級	222	2,306	2,528
3 級	845	7,352	8,197
合計	1,196	12,431	13,627

※ 詳細は「審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表」（17ページ）参照

3) 登録料免除対象者

ジュニア・ユース世代に対する資格取得の促進のため、登録時に25歳以下の者、または登録時に所定の学校に生徒として在籍している者を対象に、登録料の免除を行った。

対象登録者	1 級	2 級	3 級	合計
11 加盟団体		2	54	56

4) 永年審判員登録者数

85歳以上の審判員を対象とした永年審判員の登録を実施した。

	1 級	2 級	3 級	合計
新規登録者	1			1

※ 永年審判員の登録者数は「審判員級別一覧表」（18ページ）参照

(2) 国際審判員資格の試験、登録、並びに登録更新の実施

国際審判員に関する資格試験・登録、登録更新を実施した。

加盟団体	受験者数	合格者数	新規登録者数	登録更新者数
徳 島				4
香 川				2
合 計				6

※ 国際審判員の登録者数は「審判員級別一覧表」（18 ページ）参照

(3) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）

本年度の全国大会等の開催団体を対象に 12 回の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大及び当該全国大会の中止により、多くの都道府県が事業を自粛としたため、一部地域での事前研修会は中止となった。

「審判研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実施日	参加者数
山梨県	すば一く八田	2022年6月 4日	75名
		6月11日	86名
埼玉県	熊谷スポーツ文化公園 くまがやドーム	2022年7月27日	102名
島根県	出雲健康公園 出雲ドーム	2022年7月 9日	116名
栃木県	関谷南公園げんき広場 那珂川町小川総合福祉センター園地	2022年6月22日	68名
		8月 9日	72名
福井県	美浜町西郷健康ひろば 鯖江市ゲートボールセンター 〃	2022年9月11日	23名
		9月18日	72名
		9月24日	92名
神奈川	県立スポーツセンター	2022年6月23日	74名
		6月30日	63名
合 計			843名

審判員資格試験実施結果一覧表

2023年3月31日 現在

	1 級			2 級			3 級	
	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	合格者数
1 北海道	8		8	12		12	51	51
2 青森							8	8
3 岩手							24	24
4 宮城	2		2	6		6	17	17
5 秋田				2		2	2	2
6 山形	2		2	7		7	4	4
7 福島	4		4	6		6	19	19
8 茨城	3		3	2		2	27	27
9 栃木	1		1	9		9	7	7
10 群馬	15		15	13		13	22	22
11 埼玉	5		5	7		7	28	28
12 千葉	13		13	13		13	13	13
13 東京	7		7	14		14	41	41
14 神奈川	2		2	1		1	15	15
15 新潟	5		5	20		20	59	59
16 富山	7		7	14		14	14	14
17 石川	4		4	7		7	10	10
18 福井	3		3	3		3	13	13
19 山梨							27	27
20 長野	13		13	27		27	55	55
21 岐阜							13	13
22 静岡	3		3	1		1	14	14
23 愛知								
24 三重	6		6	11		11	22	22
25 滋賀	2		2	5		5	27	27
26 京都	3		3	3		3	13	13
27 大阪							25	25
28 兵庫							1	1
29 奈良							4	4
30 和歌山				1		1	1	1
31 鳥取	2		2				3	3
32 島根	4		4	8		8	10	10
33 岡山								
34 広島							24	24
35 山口							9	9
36 徳島							44	44
37 香川	4		4	6		6	12	12
38 愛媛	3		3	6		6	16	16
39 高知				5		5	3	3
40 福岡							10	10
41 佐賀	3		3	2		2	19	19
42 長崎				1		1	23	23
43 熊本							11	11
44 大分	2		2	6		6	18	18
45 宮崎							2	2
46 鹿児島	3		3	4		4	29	29
47 沖縄							36	36
合計	129	0	129	222	0	222	845	845
前年度計	145	0	144	225	9	227	836	834
増減	△ 16	0	△ 15	△ 3	△ 9	△ 5	9	11

審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表

2023年3月31日 現在

	新規登録者数				登録更新者数				合計
	1級	2級	3級	小計	1級	2級	3級	小計	
1 北海道	8	12	51	71	53	72	160	285	356
2 青森			8	8	4	16	55	75	83
3 岩手			24	24	68	71	325	464	488
4 宮城	2	6	17	25	40	18	79	137	162
5 秋田		2	2	4	18	11	36	65	69
6 山形	2	7	4	13	76	47	43	166	179
7 福島	4	6	19	29	49	57	124	230	259
8 茨城	3	2	27	32	48	53	132	233	265
9 栃木	1	9	7	17	54	52	129	235	252
10 群馬	15	13	22	50	56	20		76	126
11 埼玉	5	7	28	40	111	51	195	357	397
12 千葉	13	13	13	39	69	49	84	202	241
13 東京	7	14	41	62	66	64	234	364	426
14 神奈川	2	1	15	18	83	64	224	371	389
15 新潟	5	20	59	84	304	284	701	1,289	1,373
16 富山	7	14	14	35	64	51	120	235	270
17 石川	4	7	10	21	41	49	42	132	153
18 福井	3	3	13	19	84	86	137	307	326
19 山梨			27	27	61	39	291	391	418
20 長野	13	27	55	95	235	155	385	775	870
21 岐阜			13	13	71	57	141	269	282
22 静岡	3	1	14	18	22	28	112	162	180
23 愛知					68	1	281	350	350
24 三重	6	11	22	39	52	57	177	286	325
25 滋賀	2	5	27	34	78	105	411	594	628
26 京都	3	3	13	19	94	95	240	429	448
27 大阪			25	25	114	94	362	570	595
28 兵庫			1	1	17	26	48	91	92
29 奈良			4	4	37	27	112	176	180
30 和歌山		1	1	2	46	46	81	173	175
31 鳥取	2			2	31	9	15	55	57
32 島根	4	8	13	25	13	6	58	77	102
33 岡山					57	30	136	223	223
34 広島			24	24	77	56	153	286	310
35 山口			9	9	21	21	13	55	64
36 徳島			44	44	31	31	50	112	156
37 香川	4	6	12	22	58	35	80	173	195
38 愛媛	3	6	16	25	18	17	109	144	169
39 高知		5	3	8	10	9	13	32	40
40 福岡			10	10	15	3	25	43	53
41 佐賀	3	2	19	24	44	28	172	244	268
42 長崎		1	23	24	49	49	232	330	354
43 熊本			11	11	15	29	68	112	123
44 大分	2	6	18	26	26	48	177	251	277
45 宮崎			2	2	23	18	62	103	105
46 鹿児島	3	4	29	36	85	58	441	584	620
47 沖縄			36	36	17	14	87	118	154
合計	129	222	845	1,196	2,773	2,306	7,352	12,431	13,627
前年度計	144	227	834	1,205	2,749	2,587	8,616	13,952	15,157
増減	△ 15	△ 5	11	△ 9	24	△ 281	△ 1,264	△ 1,521	△ 1,530

審判員級別一覧表

2023年3月31日 現在

	1 級	2 級	3 級	小 計	永 年 審 判 員			小 計	国 際 審 判 員
					1 級	2 級	3 級		
1 北海道	138	148	364	650	10	9	5	24	
2 青 森	17	35	155	207	2	2		4	1
3 岩 手	152	140	711	1,003	6	2		8	
4 宮 城	125	53	295	473	24	23	34	81	1
5 秋 田	33	23	71	127	2		1	3	
6 山 形	103	75	110	288	3	1		4	
7 福 島	110	146	614	870	7			7	
8 茨 城	115	98	273	486	1			1	
9 栃 木	106	83	263	452	2			2	
10 群 馬	106	51	124	281					
11 埼 玉	205	96	507	808	3	1		4	
12 千 葉	78	53	100	231	3	2		5	7
13 東 京	184	157	662	1,003	5	6		11	17
14 神 奈 川	154	148	601	903	14	4	1	19	5
15 新 潟	350	352	1,203	1,905	3	1		4	23
16 富 山	143	129	218	490	4		1	5	2
17 石 川	104	85	91	280					
18 福 井	214	197	319	730	1			1	
19 山 梨	114	127	737	978	1		1	2	
20 長 野	508	365	988	1,861	2			2	
21 岐 阜	120	76	216	412	2	5	2	9	
22 静 岡	86	70	262	418	4	2	1	7	
23 愛 知	171	77	613	861	11	1		12	1
24 三 重	109	116	373	598	1	1		2	1
25 滋 賀	176	280	871	1,327	9	4	2	15	1
26 京 都	204	199	546	949	3	1	1	5	
27 大 阪	120	98	410	628	6	4		10	
28 兵 庫	70	68	189	327					
29 奈 良	123	85	298	506	1		1	2	
30 和 歌 山	57	82	176	315	1	4	5	10	7
31 鳥 取	53	30	35	118					1
32 鳥 根	103	118	322	543					
33 岡 山	102	72	285	459	4			4	1
34 広 島	174	121	331	626	6	4	2	12	3
35 山 口	29	33	36	98					
36 徳 島	62	60	228	350	2		2	4	4
37 香 川	105	73	192	370					2
38 愛 媛	68	53	271	392	9	1	7	17	
39 高 知	18	18	23	59	3			3	
40 福 岡	28	31	61	120	1	1		2	
41 佐 賀	87	79	277	443	1			1	1
42 長 崎	103	132	473	708	8			8	
43 熊 本	24	59	120	203	1	1	1	3	1
44 大 分	58	108	443	609					
45 宮 崎	48	41	132	221	2	1		3	
46 鹿 児 島	165	180	913	1,258	2	3	1	6	2
47 沖 縄	39	36	296	371					
合 計	5,561	4,956	16,798	27,315	170	84	68	322	81
前年度計	6,047	5,530	19,789	31,366	169	84	68	321	82
増 減	△ 486	△ 574	△ 2,991	△ 4,051	1	0	0	1	△ 1

9. ゲートボール器具・用具の研究開発及び認定

競技を公正・安全に行うことを目的とした用具の認定基準に則り、第三者機関の安全検査に合格したゲートボール用具を認定する契約を8社と締結し、認定スティックへの認定証紙（シール）の貼付、認定ボールへの刻印を認めた。

10. ゲートボールに関する刊行物の発行

「ゲートボール Navi2022」の作成配布（スポーツ振興くじ助成事業）
ゲートボール情報誌を発行し、ホームページを閲覧する環境にない会員にも広く情報を提供するとともに、日本連合のホームページにも掲載して自由に閲覧できるように設定した。

- ・名称等：ゲートボール Navi2022 年度号（A4 縦版、カラー、本文 36 ページ）
- ・発行日：2023 年 3 月
- ・発行数：42,000 部
- ・配付先：事故防止事業対象者ほか

11. 功労者等の表彰

ゲートボールの普及発展に顕著な功績のあった方（ゲートボール功労者）、ゲートボールを通じて永年健康保持に努められた方（健康功労者）、10年以上審判員登録し功労のあった方（審判員功労者）を、表彰規程に基づき、加盟団体の推薦により表彰した。

- 1) ゲートボール功労賞 41 名
- 2) 健康功労賞 149 名
- 3) 審判功労賞 92 名

12. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 各種ゲートボール大会への後援協力等

官公庁・行政・自治体及び関係団体等が主催する大会等に協力し、更なるゲートボールの普及と生涯スポーツの振興に寄与した。

事業名	主催者	開催地	開催期日
第 35 回発祥の地杯 全国ゲートボール大会	芽室町・芽室町教育委員会	北海道 芽室町	8 月 27 日～ 28 日
2022 日本の蔵王 day 三遊亭円楽杯 ゲートボール交流大会	蔵王町・蔵王町教育委員会	宮城県 蔵王町	10 月 6 日～ 7 日
ねんりんピックかながわ 2022 ゲートボール交流会	厚生労働省・神奈川県ほか	神奈川県 相模原市	11 月 12 日～ 14 日

(2) ゲートボール活動における事故予防・防止に向けた啓発活動等

誰もが安全にゲートボールを楽しむことができるよう、競技会等での事故や傷病の事例を収集し、ゲートボール活動における事故防止や予防に向けた啓発に努めた。

また、事故にあった会員に対し見舞金を支給した。

2022年度の事故防止事業対象者は38,664名となり、前年度と比較して6,062名減少した。また見舞金支給件数は前年比1件の増加となった。

※詳細は「事故防止事業対象者数及び事故発生状況一覧表」(21 ページ) 参照

① 年度別事故防止事業運営実績一覧

年 度	対象者数	支給件数	通 院	入 院	死 亡	見舞金支給額(円)
2012年度	117,472	125	67	50	8	5,975,000
2013年度	106,633	106	53	49	4	5,545,000
2014年度	97,493	85	39	40	6	4,295,000
2015年度	89,837	81	43	34	4	3,900,000
2016年度	80,731	82	39	41	2	4,200,000
2017年度	71,993	68	27	35	6	3,715,000
2018年度	65,603	63	25	33	5	3,340,000
2019年度	58,769	48	16	26	6	2,700,000
2020年度	50,807	23	8	13	2	1,360,000
2021年度	44,726	30	13	12	5	1,675,000
2022年度	38,664	31	10	19	2	1,810,000

② ランク別傷病件数

傷病	Aランク			Bランク			Cランク			合 計			
	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	計
捻挫・脱臼		1									1		1
創 傷	1									1			1
挫傷・打撲	2									2			2
骨 折	6	9					1	2		7	11		18
心臓器障害					3						3		3
脳疾患					3	2					3	2	5
熱中症													0
その他					1						1		1
合計	9	10	0	0	7	2	1	2	0	10	19	2	31

注) 本事業への登録者が、日本連合、加盟団体または加盟団体傘下の団体等が主催(共催)・主管・後援するゲートボール競技大会及びゲートボールに関する講習会・研修会等において事故にあったときは、次のランクに基づき、見舞金を支給する。

Aランク・・・参加中に発生した傷害事故

Bランク・・・参加中に発生した日射病・熱射病、疾病(既往症)、脳疾患や心神喪失など

Cランク・・・参加のための、自宅と目的地の往復路であった事故

事故防止事業対象者数及び事故発生状況一覧表

2023年3月31日 現在

	対象者数	支給件数	Aランク	Bランク	Cランク	通院	入院	死亡	見舞金額
1 北海道	326								
2 青森	307								
3 岩手	1,337								
4 宮城	862								
5 秋田	183								
6 山形	444	1	1			1			55,000
7 福島	1,296	2		2			1	1	145,000
8 茨城	559								
9 栃木	863								
10 群馬	694	2	2				2		155,000
11 埼玉	1,320	3	3			1	2		235,000
12 千葉	584								
13 東京	1,587	3	2	1		1	2		155,000
14 神奈川	1,452								
15 新潟	2,728	2	2			1	1		70,000
16 富山	725	1			1	1			20,000
17 石川	349								
18 福井	1,056								
19 山梨	1,460	1	1				1		80,000
20 長野	2,145	1		1				1	100,000
21 岐阜	1,064	3	2	1		2	1		95,000
22 静岡	623								
23 愛知	634								
24 三重	846								
25 滋賀	1,885								
26 京都	1,222	1		1			1		45,000
27 大阪	1,345								
28 兵庫	560	1	1			1			15,000
29 奈良	625	1			1		1		35,000
30 和歌山	359								
31 鳥取	134								
32 島根	1,252	1	1				1		100,000
33 岡山	572	2	2				2		200,000
34 広島	828	2		2			2		160,000
35 山口	203								
36 徳島	272								
37 香川	374								
38 愛媛	389								
39 高知	76								
40 福岡	157								
41 佐賀	643								
42 長崎	989	1	1			1			15,000
43 熊本	695	1	1			1			15,000
44 大分	721	1			1		1		55,000
45 宮崎	162								
46 鹿児島	1,024	1		1			1		60,000
47 沖縄	733								
合計	38,664	31	19	9	3	10	19	2	1,810,000

(3) アンチ・ドーピング教育・啓発活動

- ① eラーニングの受講
- ② 日本連合主催全国大会における競技プログラム等の理念広告の掲載
- ③ 日本連合主催全国大会における横断幕の掲示

(4) 広報

スマートフォンにも対応した公式ホームページ及び、Facebook、Twitter、Instagram、YouTube 等の SNS にてゲートボールに関する情報を動画と画像で提供した。

(5) 会員データシステムの整備

日本連合が管理・運用している審判員、事故防止事業対象者等の名簿データの一元化による日本連合と加盟団体の事務の効率化を図るため、外部業者に委託し、加盟団体の意見を徴しながらシステム構築、データ整備を進め、順次利用加盟団体を拡大した（2023年3月31日現在で42加盟団体が利用）。

(6) 寄付金・賛助金及び協賛企業等の募集

日本連合の諸事業の一層の充実と発展を図るため、寄付金・賛助金及び協賛企業等を募集した。

1) 賛助会員（15社：2023年3月31日現在）

会社名	所在地
株式会社ニチヨー	栃木県足利市
株式会社サンシャインスポーツ	長野県松本市
株式会社シャトル	福井県越前市
株式会社本郷	広島県廿日市市
株式会社サンラッキー	大阪府大阪市
株式会社ティエヌケイ	埼玉県川越市
羽立工業株式会社	静岡県湖西市
井上工業株式会社	兵庫県加東市
株式会社天賞堂	東京都中央区
株式会社かいせい	東京都港区
株式会社アオイスports企画	東京都稲城市
株式会社サンワ	埼玉県戸田市
株式会社東京ビー・エム・シー	東京都港区
東洋物産株式会社	東京都杉並区
株式会社日本出版制作センター	東京都千代田区

2) 大会協賛企業 (8社)

山崎製パン株式会社	株式会社サンシャインスポーツ
株式会社日本旅行	株式会社ティエヌケイ
名鉄観光サービス株式会社	株式会社本郷
株式会社ニチヨー	株式会社シャトル

3) 寄付金 (2件)

① 一般寄付

総額 36,000 円の寄付があり、日本連合が実施するゲートボール普及事業に充当した。

明細は下記のとおり。(順不同、敬称略)

全国ユースゲートボール連盟、隠岐十子江

(7) 国際ゲートボール組織の事務局業務の受託

【参考：各種名簿等】

2023年3月31日現在

別表第1 評議員：2024年度定時評議員会終結時まで 任期4年（8名以上15名以内）

氏名	所属・役職	備考
上治丈太郎	一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 理事	
久米信行	久米繊維工業株式会社 取締役相談役	
小高幹雄	一般財団法人BOATRACE振興会 会長	
児玉義人	鹿児島県ゲートボール協会 会長	
下光輝一	公益財団法人健康・体力づくり事業財団 理事長	
花岡伸和	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 副理事長	
前田 晃	公益財団法人日本財団 専務理事	
松尾哲矢	立教大学 副総長 コミュニティ福祉学部 教授	
丸山実子	時事通信社 神戸総局長	
望月美佐緒	株式会社ルネサンス 常務執行役員	
若林静子	元一般財団法人新潟県ゲートボール連盟 理事長	

別表第2 理事：2024年度定時評議員会終結時まで 任期2年（8名以上15名以内）

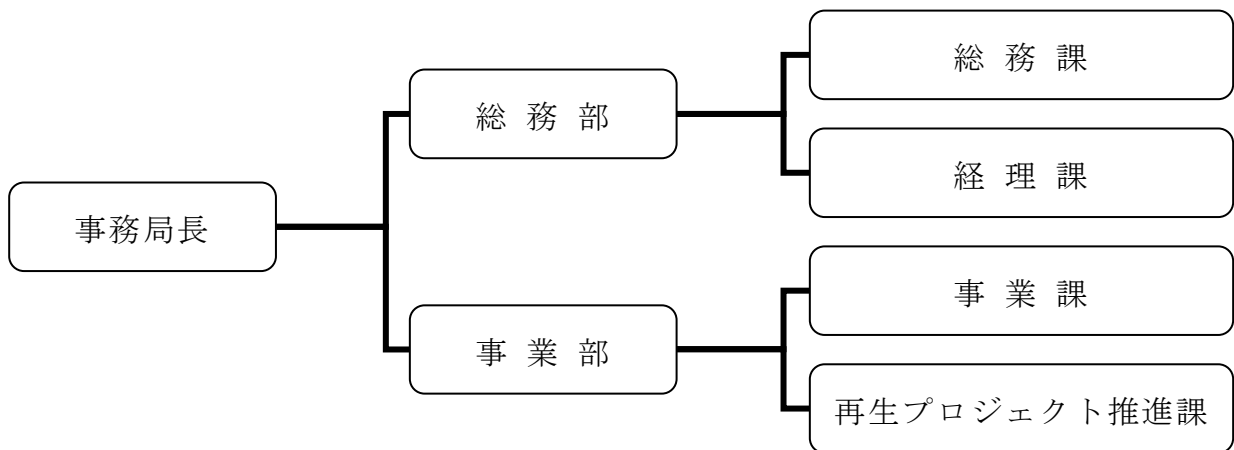
氏名	所属・役職	備考
今川啓一	公益財団法人日本ゲートボール連合 専務理事	代表理事
小山さなえ	山梨学院大学 スポーツ科学部 教授	
三遊亭好の助	落語家	
菅原悟志	公益財団法人ブルー・アント・グリーンランド財団 理事長	
栩野一美	和歌山県ゲートボール協会 事務局長	
中村太一	徳島県ゲートボール協会 会長	
野上 順	公益財団法人日本ゲートボール連合 常務理事	業務執行理事
花田 惇	学校法人青森山田学園 青森山田高等学校 校長	
村上英人	宮城県蔵王町長	
渡辺恵理	フリーアナウンサー	
渡邊一利	公益財団法人笹川スポーツ財団 理事長	

別表第3 監事：2024年度定時評議員会終結時まで 任期2年（2名以内）

氏名	所属・役職	備考
金子 明	一般財団法人日本財団母乳バンク 総務部ディレクター	
菅井明則	公益財団法人笹川平和財団 常務理事	

別表第4 事務局組織図

2023年3月31日現在



別表第5 2022年度 日本連合主催全国大会等

(1)	文部科学大臣杯 第38回全日本ゲートボール選手権大会	スポーツ振興基金助成事業
	福井県鯖江市	2022年10月15日(土)・16日(日)
(2)	第37回全国選抜ゲートボール大会	日本財団助成事業
	山梨県甲府市	2022年6月18日(土)・19日(日)
(3)	内閣総理大臣杯 第39回全日本世代交流ゲートボール大会	日本財団助成事業
	島根県出雲市	2022年9月18日(日)
(4)	第27回全国ジュニアゲートボール大会	日本財団助成事業
	埼玉県熊谷市	2022年8月6日(土)・7日(日)
(5)	第21回全国社会人ゲートボール大会	日本財団助成事業
	埼玉県熊谷市	2022年8月6日(土)・7日(日)
(6)	2022年全国高等学校ゲートボール選手権大会	スポーツ安全協会助成事業
	愛媛県西条市	2022年12月17日(土)

(7)	第77回国民体育大会〔公開競技〕いちご一会とちぎ国体	
	栃木県那珂川町	2022年9月3日(土)～4日(日)

<国際大会>

(8)	第8回アジアゲートボール選手権大会	※ 延期 (2024年度開催予定)
	中華人民共和国	
	アジア連合加盟団体及びアジア地域の普及国・地域から選ばれた64チーム	

2022年度事業報告における附属明細書

2022 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

2023 年 5 月 23 日

公益財団法人日本ゲートボール連合

前記のとおり相違ありません。

2023年5月23日

公益財団法人日本ゲートボール連合

専務理事 今川啓一

2022年度の事業報告書を監査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

2023年5月26日

監事 金子 明

監事 菅井 明 則